



回復期 リハビリテーション病棟

3階病棟

脳卒中や骨折の発症直後の手術や専門的な治療の期間に引き続く数ヶ月間は、集中的なリハビリテーションによる機能回復の効果が高い「回復期」と呼ばれます。回復期リハビリテーション病棟は、病気やケガによる寝たきり防止と早期の家庭復帰を目的とするリハビリテーション専門の病棟です。医師、看護師、リハビリ専門スタッフ、医療ソーシャルワーカー等が共同で患者様一人ひとりに適したリハビリテーションの実施計画を作成し、それに基づく集中的なリハビリを行います。日常動作の全てがリハビリです。病気やケガの前にも取り戻せるよう、スタッフ一同全力で支援いたします。

◆厚生労働省の定める基準により、入院できる対象疾患や入院の日数上限が決められています。

◆退院後の生活が安心して送れるよう、介護保険の手続きや訪問看護、住宅改修の相談など病棟専属の相談員(医療ソーシャルワーカー)がお手伝いいたします。



失語症訓練の様子

当病棟の特徴

- ◆手術や専門治療を終えた患者様のリハビリテーションを専門的にを行います。
- ◆病棟専属の医師やリハビリ専門スタッフ(理学療法士、作業療法士)を配置しています。
- ◆リハビリ室での訓練だけでなく、自宅復帰を見据えた着替えや食事、トイレ、洗面、入浴、歩行などの日常生活の訓練も積極的にを行います。

言語聴覚療法

言語聴覚療法とは、言葉がスムーズに出るように言語訓練を行ったり、大きな声が出せるように発声訓練を行ったり、口から食事をスムーズにとれるように嚥下(飲み込み)訓練を行ったりすることです。

- ◆脳卒中などが原因で、言葉を理解する・話す・読む・書くことが困難になり、日常のコミュニケーションに障害がある方
- ◆唇や舌の麻痺の影響で発音しにくい、呂律が回らない、声が出にくい等の症状がある方
- ◆食事の際に食物や水分をうまく飲み込めない、むせる等(嚥下障害)の症状がある方

このような症状のある方は、言語聴覚士にご相談下さい。

患者様の声

患者満足度調査より

当院では定期的に患者様にアンケートにご協力いただき、当院の医療サービスに対する評価をしていただいています。

- ◎わかりやすく、親身になって、やさしく説明して、元気づけていただけることがうれしいです。安心できます。娘や嫁のような感じですよ。
- ◎人の命を中心に支援できる仕事に誇りやまじさを感じます。生まれ変わったら職業選択を考えたいですね。
- ◎皆さんの指導がすごく良かった。もっと早くお会いできなかった事が悔やまれます。
- ◎世話をし而下る時に名前を呼んで声をかけて下さるのに感心する。
- ◎言葉づかいなどすべてが優しい。
- ◎いつも気にかけてくれてうれしいです。

このような過分なおほめの言葉とともに「一部の職員の事務的で未熟な対応がせつかくの満足度を半減させます」という厳しいご指摘もいただきます。厳しい評価によって私たちも成長します。今後とも忌憚(きたん)のないご意見をお願いいたします。



花日記

2階ウッドデッキから

2階病棟のウッドデッキテラスではポランティアの方が育てたたくさんの花が咲いています。傍らに置かれた「花日記」と題したノートには多くの書き込みが：

- 「こんなきれいな花を世話してくれる人がいるなんて涙が出るよ。私も退院して体が動くようになったら、こんなふうに花を植えたい。」
- 「今日、お母さんのおみまいにきました。はやくげんきになるといいなあー」
- 「お花、チューリップとつてもきれいだっただよー。いちご、パンジー。お花のみつもすいました。」
- 「あと数日で長かった入院生活も終わりです。テラスに出ると暖かい日差しが気持ちよく、花々が咲き乱れ、心が和みました。かすかな香りはフリージアでしょうか。日頃のお手入れご苦労様です。」

INFORMATION

診療科目	診療時間	病院理念
内科・外科・消化器科・肛門科 リウマチ科・整形外科・形成外科 リハビリテーション科	月曜日～金曜日 午前9時～午後6時 土曜日 午前9時～正午 日曜日・祝祭日 休診 (急患は、随時受付)	医療・介護を通じ、 患者様の生活の質の向上に奉仕する
<p>至197号線 大分白竹線 至猪野 至下郡 至東明野店 至九石ドーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大分駅より車で20分 ●高城駅より車で10分 ●米良インターより車で10分 ●あけのアクロスタウンより徒歩5分 		基本方針 <ul style="list-style-type: none"> 一、患者様のために、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます 一、患者様のために、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます 一、患者様のために、患者様ひとりひとりの権利を尊重するように努めます 一、患者様のために、たえず医療・介護の質の向上に努めます 一、患者様のために、地域の健康増進・病気の予防に努めます

医療法人社団 唱和会

明野中央病院

日本医療機能評価機構 認定病院

発行日 2007年5月
発行 明野中央病院広報委員会 代表 木下昭生
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号
TEL 097-558-3211(代表) FAX097-558-3709
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp
http://www.coara.or.jp/~akenohp

正しい姿勢で腰痛予防

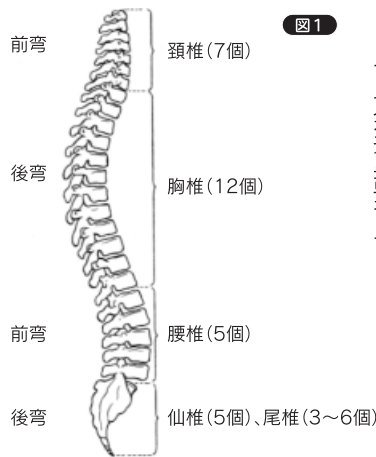
健康運動指導士 嶋田 清美

平成13年厚生労働省の統計調査「もともとも気になる自覚症状」の第一位は「腰痛症」です。腰痛には日常生活での姿勢が影響することはご存知の通りです。では、正しい姿勢とはいったいどのような姿勢なのでしょうが。

運動指導の際、「背筋を伸ばしてください」とお願いすると、胸やお腹を突き出して、両手をお尻に添えて体からピシッと音が聞こえてきそうな姿勢をとる方が少なくありません。(写真1)しかし、このような姿勢を長時間続けることは困難です。腰痛症の方はなおさらではないかと思われるます。



そもそも体の柱となる背骨に脊柱があり、この脊柱は姿勢や動作の中心軸の役割を果たすとともに体重を支えています。この脊柱は、正面から見るとまっすぐですが、横から見るとS字カーブ（生理的彎曲）を作っています。(図1)この自然な生理的彎曲を保つことが良い姿勢にとって大変重要です。



そこで、脊柱の生理的彎曲を保つためのよい姿勢について説明します。実際に骨をのぞき見ることは不可能ですから、体の各部位の位置が指標となります。自己チェックしてみてください。

横から見る



耳たぶ・肩峰・胸郭の中央・大転子・膝の側面中央・くるぶしの前方が床から垂線上に並んでいることが望ましい。

《チェック項目》

- 頭(顎)が前に出ていないか
- 肩がっすりあがっていたり、後ろへ引かれすぎたりしていないか
- 腰の前方への反りが大きくないか、また腰が後ろへ下がっていないか
- 股関節が曲がったままではないか

正面から見る



顔(鼻)・胸骨・へそ・両膝の間・両踵の間が床から垂線上に並んでいることが望ましい。

《チェック項目》

- 耳たぶ・肩峰・腸骨・膝・くるぶし、それぞれ左右の位置が並んでいるか、平行か。

第8回ふくろうの会



古川旭町自治会長
地域の自治会長、患者様の代表にお集まりい

4月12日
ただき、第8回地域交流会(ふくろうの会)を開催しました。地域における当院の役割、期待することなど、今回も多くのアドバイスをいただきました。地域の方々の声が病院を成長させます。今後とも変わらぬご指導お願いいたします。

第7回ボランティアの会



病院ボランティア会 志水会長
4月24日
日頃より病院内のいろいろなお話をしている

ただき、第7回ボランティアの会(ふくろうの会)を開催しました。リハビリ室でのお手伝いや花壇のお世話など、今や当院にとってなくてはならない存在。無償の奉仕に頭が下がります。

第15回糖尿病相談会開催

今回の糖尿病相談会は、「足のお手入れ」をテーマに取り上げました。足の皮膚の乾燥や爪の切り方、うおのめやタコ、くつづれなどが糖尿病に及ぼす影響についてご紹介しました。糖尿病療養指導士の資格を持つ看護師が実際に参加者の足を観察して、足のお手入れに関するアドバイスをを行いました。皆様のご参加ありがとうございました。



日頃から足を観察し、乾燥や傷などのチェックをしましょう

地域医療・看護支援センターは、病院東側の新しい管理棟1階に移転しました

地域医療・看護支援センターはさまざまな医療福祉相談に関する相談部門(相談員2名)、在宅医療を支える訪問看護ステーション・ふくろう、介護保険対応の明野中央・介護支援センターがあります。在宅医療、訪問看護、訪問リハビリなどさまざまな医療相談に対応いたします。お気軽にご利用ください。



ここに移転しました



地域に根ざした医療と看護

日本の身体運動に関する自然科学研究の第一人者である故猪飼道夫先生は、「よい姿勢」について以下のようにあげています。

- ①力学的に見て安定であること
- ②生理学的に見て疲労しにくいこと
- ③医学的に見て健康であること
- ④心理的に見て気持ちのよいこと
- ⑤美学的に見て美しいこと
- ⑥作業能率から見てもよいこと

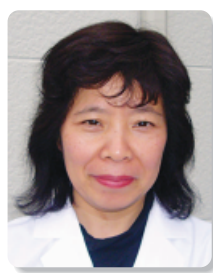
つまりこれは疲れにくく動きやすい姿勢と言え換えることができるのではないのでしょうか。さあ、皆様も鏡の前に立つてみましょう。



嶋田 清美

健康運動指導士:生活習慣病予防や健康作りなどの運動に関する専門職

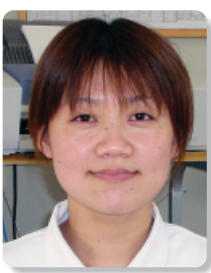
医療を支える仕事 病態栄養 専門師



病態栄養専門師
管理栄養士
中村 佳子

食事(栄養)は治療の一環です。当院の管理栄養士は、病態と栄養に関する専門職「病態栄養専門師」でもあり、さまざまな疾患の患者様に最適な栄養療法を提供しています。「食は命なり」食事で体は変わります。栄養管理に関することは遠慮なくご相談ください。

医療を支える仕事 呼吸療法 認定士



呼吸療法認定士
理学療法士
後藤 圭子

慢性的な肺疾患、呼吸困難の症状のある患者様を対象に「呼吸に必要な筋力を維持する」薬に痰を出す「吸入」の理学療法士であり更に呼吸療法に関する専門的な治療を行います。呼吸に関するご質問などありましたら遠慮なくご相談ください。

次回 糖尿病相談会のご案内

とき 2007年5月19日(土) 12:00~13:00

ところ 3階 会議室

糖尿病でも食べられるカレーの試食

※材料費として300円いただきます 先着10名様限り

参加ご希望の方は、受付窓口にてお申し込みください。